

様式13

## 会派視察研修計画書

令和 2年 6月23日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	加藤 厚雄 ・ 大竹 敦子		
日 時	令和2年 7月 8日（水）		
視 察 先	アイシン精機㈱イノベーションセンター （現地視察：豊明市内）		
研修内容	乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について		
日 程	アイシン精機㈱イノベーションセンター …13:00～14:00 現地視察（豊明市内） …14:30～16:00  *詳細は別紙参照		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 （電車・新幹線）	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 （飛行機）	<input checked="" type="checkbox"/> 自家用車 （みらいクラブ同乗）

※該当するものにチェック☑してください

様式14

## 会派視察研修報告書

令和 2年 12月 17 日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2人 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	加藤 厚雄 大竹 敦子
日 時	令和 2年 7月 8日（水）
視 察 先	アイシン精機（株） 豊明市（現地視察）
研 修 内 容	乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について
視察先面会者 又は講師名等	イノベーションセンター チョイソコ企画チーム チームリーダー 野々山茂男 プロジェクトメンバー 杉浦利治
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

## 会派視察研修成果報告書

令和 2年 7月 27日

議員氏名 大竹 敦子 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和 2年 7月 8日（水）
- 2 視察先 刈谷市 アイシン精機(株)イノベーションセンター  
豊明市（現地視察）
- 3 視察の種類 先進地視察
- 4 視察の成果等

### 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について

豊明市では、高齢化が進み、高齢者の買い物、通院などの移動手段が社会問題化する中、その問題を解決するため、高齢者等交通弱者と言われる市民が行きたい時に行きたい所へ行きことができるよう、アイシン精機(株)の開発した「乗り合い送迎サービス」のシステムを活用し、平成30年7月より5ヶ月間の実証実験を経て、本格導入し、効果を上げている。

#### 【事業概要】

**システム** まずは、利用希望者は会員登録をし、電話で希望する日時、乗り場と行き先を予約しておく。帰りの予約も可能。カーナビ技術で最短の乗客の乗り合わせを調整し、市内のタクシー会社に委託し運行している。

**対象者** 市内在住で65歳以上の方及び障害をお持ちの方

**運賃** 1回 200円（乗継 400円） 土日祝日休み

**停留所** 111ヶ所

中心市街地から離れた交通の便が悪く、狭い道の多い住宅地・公共施設・墓地・公園の地域の60ヶ所（仙人塚・間米地区31ヶ所 沓掛地区29ヶ所）の停留所から、市街地にあるこの事業に協賛している店舗・金融機関・介護事業所・医療機関など61のスポンサー事業所の前に停留所を設置している。事業所の前に停留所を設置することで市民の利用促進効果を狙っている。

## 【提言】

碧南市においても、高齢化による高齢者等のアクセルとブレーキの踏み間違いなどの交通事故が増えてくることは間違いなく、安全装置を装着しての運転にも限界がある。どうしても、免許証の返納を余儀なくされ、交通弱者が増えてくることは、今後、明らかである。移動手段を絶たれたことによる高齢者等の認知症患者の増加も懸念される。

こうした状況に対応するには、碧南市のくるくるバスを中心に公共交通の整備が望まれるところである。豊明市でのアイシン精機(株)との提携による乗り合い型送迎サービス「チョイソコ」の取り組みは、高齢者等交通弱者の足を補完し、停留所をスポンサー事業所前に設置するなど街の活性化にもつながる事業になっている。事業所の協賛金については、各事業所によってまちまちだが、それだけでは、乗り合い型送迎サービス「チョイソコ」の運営はできない。豊明市の費用負担は明らかにはされなかったが、相当の負担になっているようだ。

豊明市では、中心市街地の駅を中心に市バス、市内巡回バスが走っている。それを補完するように、「チョイソコ」は中心市街地から離れた道幅の狭い地域から中心市街地への足となっている。碧南市においては、くるくるバスのみにより、市内を大きく網羅した形で走っているが、本数も十分ではなく、利便性に欠け、利用者も減少している。この現状を見ると、豊明市のそのままを模倣することは適切ではないが、碧南市にとってもっとも適した形を研究していくべきである。例えば、くるくるバスを生かし、市の中心市街地をこまめに回し、その周りの地域をできるだけドアツードアを目指した形で送迎サービスを展開していったらどうか。

今や、公共交通と福祉は切っても切れない重要な関係である。碧南市においても、福祉の問題として、これからさらに厳しくなる高齢社会にむけて、高齢者等交通弱者の移動手段についてしっかりと取り組んでいただきたい。

## 視察研修成果報告書

令和2年12月17日

議員氏名 加藤厚雄 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和2年7月8日（水）
- 2 視 察 先 アイシン精機(株)イノベーションセンター（刈谷市）  
豊川市役所（現地視察）
- 3 視察の種類 会派視察（市民クラブ・公明党・みらいクラブ合同）
- 4 視察の成果等

#### 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について

路線バスは減少し、高齢者が増加する中、増加し続ける移動弱者や買い物難民のため、デマンド方乗り合い送迎サービスについて視察をした。

様々な人が乗り合わせることで、新たなコミュニケーションが生まれ、更なる外出機会へ繋げる事で、心身ともに健康な日常生活をおくっていただきたいという思いを込めている「チョイソコ」であると説明を受けた。

希望時間に合わせて利用でき、停留所をきめ細かく設置しているので自宅付近から楽に乗車でき、利用者の目的地を設定し様々な外出のニーズに対応している。

特徴は①自治体と事業者を結び、地域の市民等にもチョイソコ事業へ参加することで持続可能な運営、②利用者の希望に近い時間帯にあわせて送迎でき、更に乗り合わせを考えて運行する事により多くの方が利用可能となる、③自治体、事業者と連携し「お出かけしたくなる」イベント等を提案、他自治体で実施した好事例も紹介し、「チョイソコ通信」を郵送し外出促進をしている。

今後、高齢者等が運転免許を返納し、多くの市民が便利で気楽な移動ができる持続可能な公共交通の実現が急がれる。地域経済の活性化につながる施策の検討。